資料３

堆肥生産のレベルアップを目指した熊本県の取組

熊本県耕畜連携推進協議会

協議会の概要

○構成員（規約第４条）

熊本県農林水産部生産経営局　農業技術課
農産園芸課
畜産課（課長が協議会会長）

熊本県農業協同組合中央会　農政・営農支援センター
熊本県経済農業協同組合連合会
熊本県酪農業協同組合連合会
熊本県果実農業協同組合連合会
熊本県畜産農業協同組合連合会
肥後開拓農業協同組合
(公社)熊本県畜産協会
(一社)熊本県配合飼料価格安定基金協会

協議会の概要

○目的（規約第２条）

本県農業の優位を発揮するため、畜産部門と耕種部門の連携のもと、良質堆肥の生産及び利用促進による土づくり、国産粗飼料の安定確保に寄与する。

①良質堆肥生産技術の普及・啓発
②耕畜連携による土づくりの啓発
③堆肥の広域流通促進　等

事業として実施

主な事業①　堆肥共励会

（良質堆肥生産技術の普及・啓発）

堆肥共励会のスケジュール

○5～6月　サンプルの収集（各振興局等で掘り起こし）

○7～10月　サンプルの分析　成分分析→LEIOに依頼
発芽試験→畜産研究所に依頼

○11月　　現物審査（サンプルを手に取って審査）

○12月　　現地審査（出品者を訪問し製造工程を確認）

○2月　　表彰式（市町村及び農業団体等も参集）

※出品点数　R5：103点　R4：112点　R3：97点

成分分析・発芽試験

堆肥成分等検査報告書

番号 0313
令和4年10月7日

熊本県耕畜連携推進協議会 様
(90.)

一般財団法人畜産環境整備機構
畜産環境技術研究所所長 (印)

検査材料受領日 ：令和4年9月5日
検査材料の名称 ：菊池-2

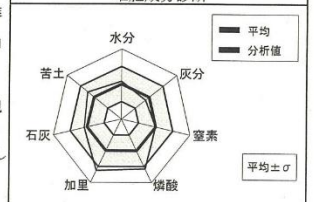
畜　　種 ：乳用牛 肉用牛

検査結果を下記のとおり報告いたします。なおこの検査報告書は、当研究所に送付されてきた検査材料について検査したものであって、当該検査材料以外の品質等について証明するものではありません。

検査項目	検査結果		検査方法
水分	54.5	%(現物)	「堆肥等有機物分析法*」による。
粗灰分	25.7	%(乾物)	同上
pH	8.9		同上
EC	8.3	mS/cm	同上
窒素全量	2.2	%(乾物)	「乾式燃焼法」による。
燐酸全量	4.3	%(乾物)	「堆肥等有機物分析法*」による。
加里全量	4.9	%(乾物)	同上
石灰全量	4.8	%(乾物)	同上
苦土全量	1.9	%(乾物)	同上
炭素率(C/N比)	17.6		「乾式燃焼法」による。
銅全量	-	mg/kg(現物)	下記*による。 銅、亜鉛のコメント中の基準値は肥料取締法における特殊肥料の品質表示基準(現物)です
亜鉛全量	-	mg/kg(現物)	同上
鉄全量	-	mg/kg(乾物)	同上
マンガン全量	-	mg/kg(乾物)	同上
発芽率	-	%	下記**による。
酸素消費量	-	μg/g/min(現物)	「コンポテスター」を用いた***による。
臭気指数相当値	-	(現物)	「におい識別装置」を用いた***による。
放射性セシウム合計	-		NaI(Tl) シンチレーションスペクトロメータ使用による。

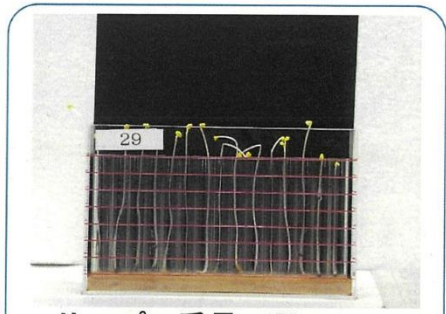
コメント:
加里、ECがきわめて高く、燐酸が高く、pHがやや高い畜ふん混合堆肥です。
ECが高いので施用量には十分気をつけてください。ECが高いのは加里が高いことも一因と考えられます。
この堆肥に含まれる肥料三要素の全量は、現物1トン当たり、窒素10kg、燐酸20kg、加里22kgです。このうち化学肥料相当分の含量(肥効率)を、窒素10%、燐酸80%、加里90%とすると、化学肥料相当分は、現物1トン当たり窒素1kg、燐酸16kg、加里20kg程度となります。
発芽率やコンポテスターによる酸素消費量(易分解性有機物含量の目安)は堆肥の腐熟を評価する上で重要ですから、測定することをお勧めします。

堆肥成分診断

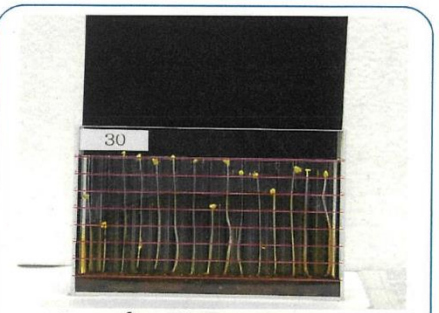


(乳用牛ふん堆肥と比較しました)

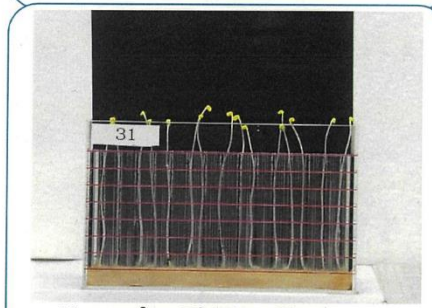
*　財団法人日本土壌協会「堆肥等有機物分析法」(2010年版)に準じた方法
**　農林水産技術会議事務局「家畜ふんたい肥の品質評価・利用マニュアル」(2004)
***　一般財団法人 畜産環境整備機構 畜産環境技術研究所方式



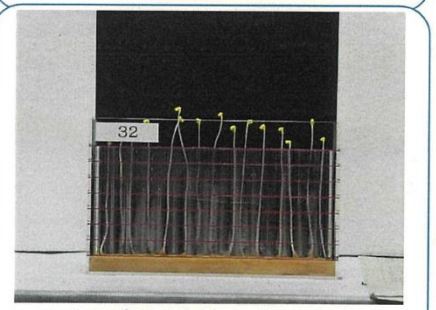
サンプル番号：No. 85
対照BL：BL3-1,2,3



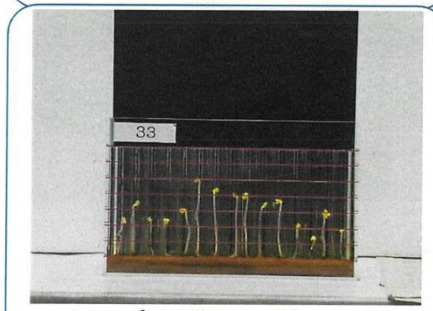
サンプル番号：No. 86
対照BL：BL3-1,2,3



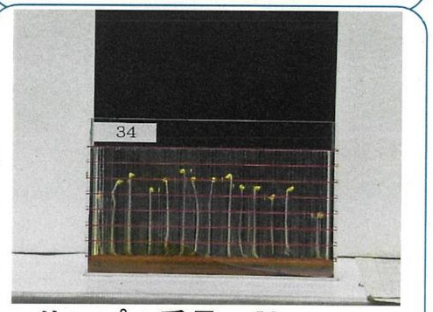
サンプル番号：No. 87
対照BL：BL3-1,2,3



サンプル番号：No. 88
対照BL：BL4-1,2,3



サンプル番号：No. 89
対照BL：BL4-1,2,3



サンプル番号：No. 90
対照BL：BL4-1,2,3

現物審査

・畜種部門等　→　県農業技術課及び農研センターの畜産担当、土壌肥料担当者が審査
・作物部門　→　耕種農家及び営農指導員（耕種）が審査

現地審査

・現物審査までの結果を踏まえ、受賞候補者の堆肥舎を訪問して製造工程等を確認
（R5年度は和水町、菊池市、御船町及び大津町の堆肥舎を審査）

表彰式

R4年度受賞者
畜種部門：(乳牛部門：熊本市東部堆肥センター　肉牛部門：きくちのまんま有機支援センター合志
　　中小家畜部門：セブンフーズ(株))
作物部門：きくちのまんま有機支援センター合志
耕畜連携部門：(株)やました牧場
新人部門：黒木　集

主な事業②　セミナー・PR活動

（耕畜連携による土づくりの啓発）

協議会が開催するセミナーについて

○外部講師を招き堆肥共励会表彰式と併せて開催

○堆肥の生産技術向上や土づくりに関する演題のほか
堆肥を利用している耕種サイドからの事例報告も演題としている

【Ｒ4演題】

「有機資材肥効見える化」（基調講演）

「堆肥だけで、稲ＷＣＳを作る！」

「組合員の労力軽減等に向けた堆肥利用の取組み」

協議会が開催するセミナー

農研機構　九州沖縄農業研究センター　古賀講師

フィールドマスター合同会社　林講師

協議会のＰＲ活動について

○主に農業者を対象とする農機展示会、一般消費者を対象とする農業フェアに出展

○パネル展示のほか、ＪＡ菊池の協力を得てペレット堆肥のサンプルを配布

○その他、国内肥料資源マッチングフォーラムにも出展し、積極的に情報交換

協議会のＰＲ活動

農機自動車大展示会　R5.7.28～29

くまもと農業フェア　R5.11.11～12

主な事業③　くまもと堆肥ネット

（堆肥の広域流通促進）

くまもと堆肥ネットとは

○協議会で運営する堆肥情報を公開するウェブサイト

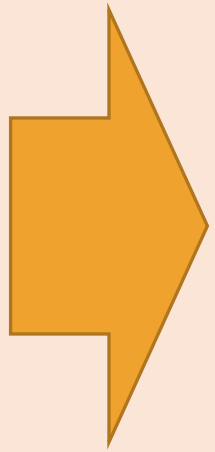
○堆肥共励会出品者のうち、希望者は堆肥の基本情報を掲載することが可能

○耕種農家側は畜種や地域などを選択することによって条件を絞って検索することが可能

○掲載料は無料（協議会が管理費を業者に支払い）

くまもと堆肥ネット

このサイトは熊本県耕畜連携推進協議会が運営しています。
たい肥
くまもと堆肥ネット
よい作物は、土づくりから生まれる。
MENU
堆肥づくりのポイント
堆肥はなぜ必要か？
堆肥利用情報
(財)畜産環境整備機構からのお知らせ
環境保全型農業の取り組み
各種届出ダウンロード
堆肥情報検索
良質堆肥を供給します！
キーワードから
エリアから
熊本
玉名
鹿本
菊池
阿蘇
上益城
宇城
八代
芦北
球磨
天草
畜種から
牛
豚
鶏
馬
他
すべてを表示
検索
ニュース
令和4年度熊本県堆肥共励会表彰式及び堆肥による土づくりセミナーを開催しました
令和3年度熊本県堆肥共励会表彰状授与式を行いました
令和2年度熊本県堆肥共励会表彰状授与式を行いました
令和元年度熊本県堆肥共励会表彰式及び堆肥による土づくりセミナーを開催しました。
平成29年度熊本県堆肥共励会表彰式及びスキルアップセミナーを開催しました。
2017くまもと農業フェアに出展しました
八代地域で「たい肥の達人」の視察研修会を開催しました。
平成28年度「熊本県堆肥共励会表彰式」および「スキルアップセミナー」を開催しました。
たい肥の達人
たい肥の達人ロゴ



このサイトは熊本県耕畜連携推進協議会が運営しています。
トップへ戻る
たい肥
くまもと堆肥ネット
MENU
堆肥づくりのポイント
堆肥はなぜ必要か？
堆肥利用情報
(財)畜産環境整備機構からのお知らせ
環境保全型農業の取り組み
各種届出ダウンロード
検索結果へ戻る
結果を印刷する
堆肥詳細情報
－堆肥情報検索－
■堆肥名■ 牛ふん堆肥
畜種 乳牛
原材料 牛ふん、のこくず
窒素 1.12%
リン酸 1.08%
カリ 1.64%
C/N比 15
水分 53.2%
年間生産量 4400t
配送/配送料 要相談
散布/散布料
セールスポイント 令和3年度熊本県堆肥共励会「新人部門」受賞
製造者名 有限会社ビーユーファーム
地図
住所 熊本県阿蘇郡高森町高森2883
電話 0967-62-1673
COPYRIGHT© 熊本県耕畜連携推進協議会 2006 All rights reserved.

くまもと堆肥ネット

堆肥共励会

運営

協議会

②ウェブ上で堆肥情報を公開

③情報の閲覧

堆肥の出品

分析結果等のフィードバック

①様式を提出

周知

堆肥生産者

耕種農家

④マッチング、取引の成立